

(様式第4号)

第2回真田地域協議会 会議概要

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成21年5月27日(水) 午後4時00分から午後6時30分まで
3	会 場	真田地域自治センター 301会議室
4	出席者	清水潤会長、佐藤和雄副会長、上原和彦委員、桑田まなみ委員、小島俊幸委員 小林豊明委員、小林満子委員、坂口恒子委員、塩沢憲子委員、清水茂委員 関清美委員、関貞徳委員、中沢盛雄委員、花岡静枝委員、山宮良雄委員 宮下蘭子委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	笠原センター長、センター全課長、伊藤文化・交流施設建設準備室長 滝沢地域政策係長、宮島主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	3人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成21年6月4日

協 議 事 項 等	
1	開 会 (佐藤副会長)
2	会長あいさつ (清水会長)
3	センター長あいさつ (笠原センター長)
4	協議会委員の変更について (報告) ・ 委員推薦団体 (真田町商工会) の役員改選に伴う委員交代 新委員に小林豊明さん
5	協議事項 (1) JT開発地における文化・交流施設のありかた (中間報告) について [資料 - 1] 【説明要旨】 (文化・交流施設準備室長) JT開発地における文化・交流施設のありかた (中間報告) について 交流・文化施設のありかた市民公聴会について 交流・文化施設のありかたパブリックコメントの実施中について 【質疑・応答】 (委員) 真田公民館で開催された公聴会 (5月13日) に出席したが、挨拶と説明で1時間、参加者に意見を聞く時間は30分程度であった。市民合意が大切とするならば、このような公聴会を何度か開催したことをもって、住民意見を反映させたとする市の手法に疑問を持っている。 魅力ある施設とするためには、施設規模は大切な問題。ホール規模1,500~1,700人の設定にあたっては、具体的な説明が必要である。 建設に向けた審議をする場合には、現在同じような施設で仕事をしている方から意見を聞き、参考にするべき。 (文化・交流施設建設準備室長) 公聴会の進め方については、皆さんからご意見をいただく時間がもう少しあった方が良かったかと反省しています。ただ、公聴会で参加者にお配りしたアンケートからは、多くのご意見を頂戴していますので、今後の参考とさせていただきます。 今回は市民公聴会8回、パブリックコメントを1ヶ月間、市民への出前講座などを実施しています。これから施設建設を進めていく過程では、折に触れて市民からご意見をいただく機会をつくりながら、市民合意に務めてまいります。 施設規模については、現在の市民会館が1,330席です。最終報告に向けて、現在の1,500~1,700人の規模についても、さらに多くの意見をいただきながら決めてまいります。 また、運営を実践している方からの意見聴取については、今後も様々な方からご意見をお聞き

して参考にしてまいります。

(委員)

美術館は、展示物によってその内容が変わってくると思う。150億円という総事業費の中に、美術展を開催するような費用が入っているのか。

(文化・交流施設建設準備室長)

ホール機能部分と美術館機能部分を合わせて考えていこうとする中間報告の内容となっています。美術館の常設展示室の設置については、上田市の芸術家たちの功績を評価・継承していこうとする考え方から、洋画家・版画家の山本鼎（老朽化した記念館の移設）、彫刻家の石井鶴三（小県上田教育会館内展示室から移動）、商業写真家のハリー・K・シゲタなどの作品展示について現在まで検討されています。

また、全体事業費 150 億円はあくまでも上限ですので、全て使い切るということではありません。議会等からもできるだけ市の財政に配慮するようにとの提言をいただいていますので十分な検討が必要と考えています。

今回の総事業費は、土地取得費・建設費・市民会館解体費・設計管理費・備品費等々ですが、ご質問の美術館に係るソフト事業費は含まれていません。

(委員)

このような施設にはどこも女子トイレが足りないと感じている。

また、建設に当たっては、どれくらいの住民負担があるのか具体的に教えてほしい。

(文化・交流施設建設準備室長)

女子トイレを増やすことについては、検討委員会やアンケート調査からもかなりのご意見をいただいていますので、建設にあたって十分に留意します。

建設費については、150 億円を全部使ったと仮定すると、財源として国からのまちづくり交付金と合併特例債を活用した場合に市の実質的な負担は約 48 億円で、住民ひとりあたり約 3 万円をご負担いただくという計算になります。

(2) 地域協議会の進め方について グループ協議について

(会長)

各委員に自分が取り組みたい項目（「真田地域のまちづくり方針」の7項目）のアンケートを実施した結果をもとに、別紙名簿で3グループに分けた原案をお示します。できるだけ第1希望を優先したつもりですが、女性委員、菅平の方、自治連の方等の配置を配慮した方が良いとの思いから、希望に副えない方もいらっしゃるかもしれませんがよろしくお願いします。

このようなグループ分けでよろしいでしょうか。

(全委員)賛成

(会長)

さて、全体協議の議題とされている「まちづくり活動拠点等の整備」については、真田地域の各種団体に対して、活動実態・抱えている課題・今後どのようなまちづくりを考えているか等、生の声を聞いて議論するのが良いのではないのでしょうか。そこで提案ですが、地域協議会としてアンケートの実態調査をしたいと考えます。

全体協議については、このような進め方でよろしいでしょうか。

(全委員)賛成

(会長)

アンケート内容については、正副会長と事務局でたたき台を作成したいので、その内容について皆さんからご意見をいただきたいと思います。後日でも構いませんので、事務局まで連絡してください。

(委員)

「合併したあとの真田地域のまちづくりに望んでいることは？」という項目を入れてほしい。

(会長)

それでは、グループに分かれてグループ長と代理を決めていただきますが、私と佐藤副会長はグループ長からは外してください。また、選んでいただく各グループ長には、必要な場合に開催する「打合せ会議」にご出席いただくこととなります。グループ協議の書記役については、今年から事務局にお願いすることになりました。

以上の点を考慮していただき、選出をお願いします。

Aグループ	<u>総意と工夫の地域づくり</u>				
	グループ長	花岡静枝	委員	代理	下条幹男 委員
Bグループ	<u>産業（農業・観光）の振興</u>				
	グループ長	清水 茂	委員	代理	坂口恒子 委員
Cグループ	<u>安心してらせるまちづくり</u>				
	グループ長	中沢盛雄	委員	代理	上原和彦 委員

(3) その他

前協議会での質問への回答

消防団 分団拠点施設について（担当：消防課）

- ・各分団拠点施設の建設や、それに伴う様々な課題については、各分団が主体となって各自治会と協議を進めているところです。

わがまち魅力アップ事業について（担当：地域振興課）

- ・市全体枠の追加募集（6月1日から6月30日まで）の実施。
- ・真田地域枠のまちづくり応援事業「菅平スカイライントレイルランレース」（菅平スカイライントレイルランレース実行委員会）は、補助申請を辞退すること。（理由：県の元気づくり応援事業の補助金が受けることになった）。

6 その他

次の開催予定について（事務局） 6月24日（水）午後7時～

7 真田地域の市議会議員との懇談会

【各委員からの主なご意見等】

- ・ 国道144号線バイパス工事の進捗状況について。
- ・ 国道に隣接した開発については、将来の道路拡幅に影響のないよう慎重に対応してほしい。
- ・ 地域医療、ゴミ処理施設の問題については、とても心配している。
- ・ 福祉センター1F会議室をシルバー人材センターが使用することになった。地域のボランティア団体等が頻りに利用していた会議室なのにどうして？また、福祉センターの建物自体が老朽化しているので改修等をしてほしい。
- ・ インフルエンザ対策については、自己努力とは関係ない経済的な損失や医療体制の問題がある。このような事態に、菅平高原という地域リスクを自分達でも考えていく必要があるし、危機管理として行政にもさらに検討してほしい。
- ・ 長野病院の問題等、地域医療の体制づくりをさらに進めてほしい。
- ・ 合併から進めている一体感の醸成は、大規模行政（旧上市市）を広げているという傾向を感じている。各地域の特殊性を認めることを地域出身の議員さんにはもっと考えていただきたい。

8 開 会（佐藤副会長）